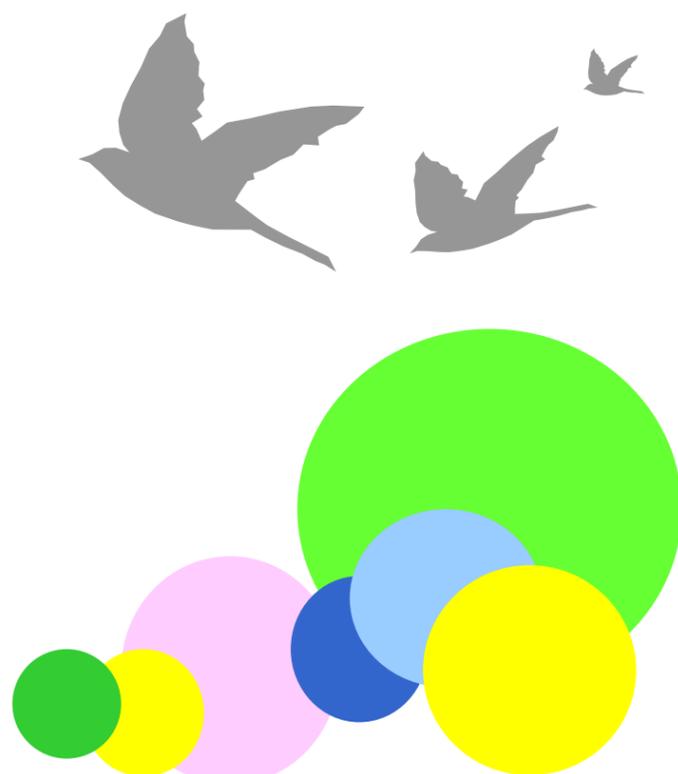


Membership Info.

ご案内

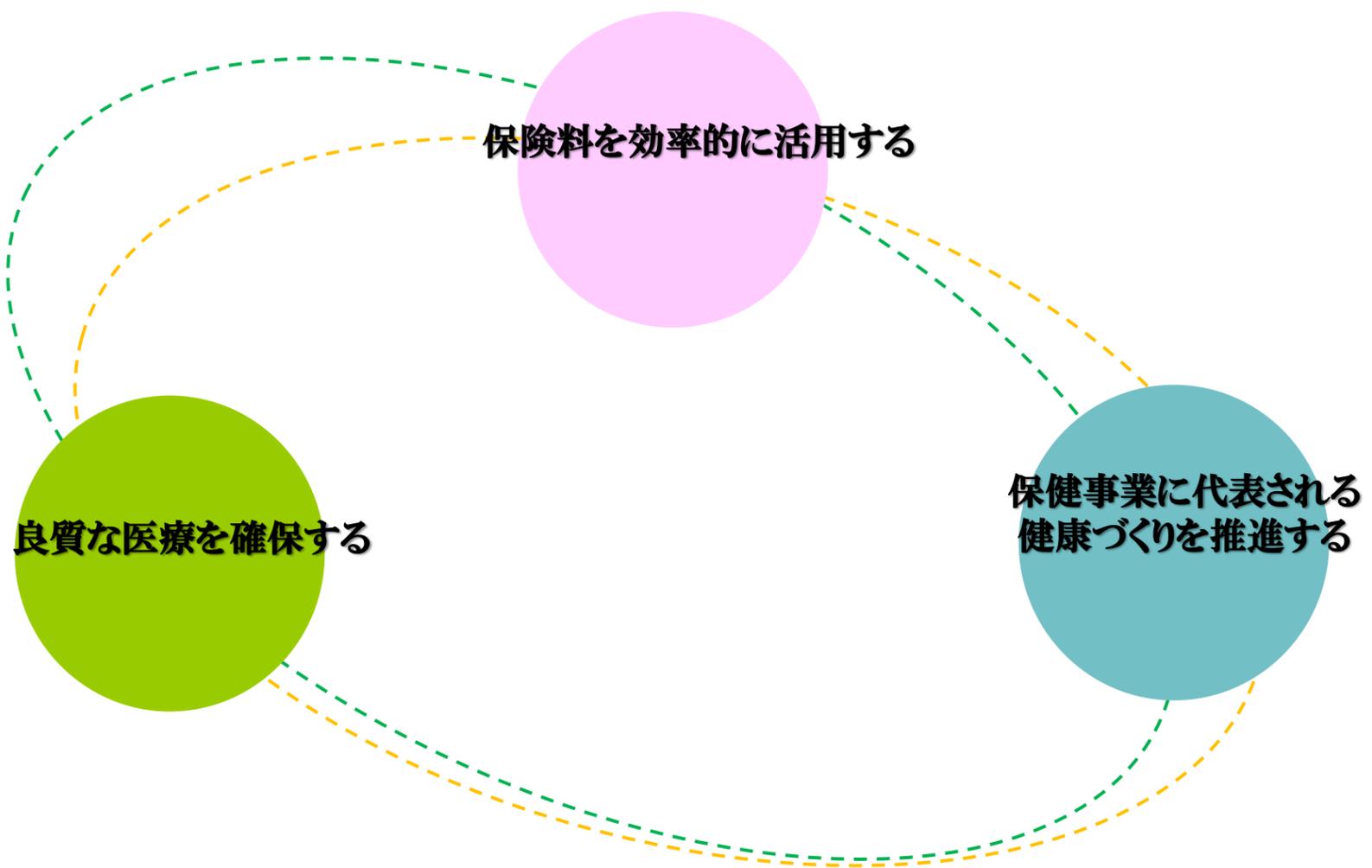
一般社団法人 保険者機能を推進する会





目的

「保険者機能の原点」を追求します！



「保険者機能の原点」とは、被保険者・被扶養者のために上記三点に努めることであり、この実施・実現が保険者の使命です。
本会は、保険者自身が集い参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とします。

この考えにご賛同していただける健康保険組合様のご加入をお待ちしています。ぜひ、一緒に活動しませんか！

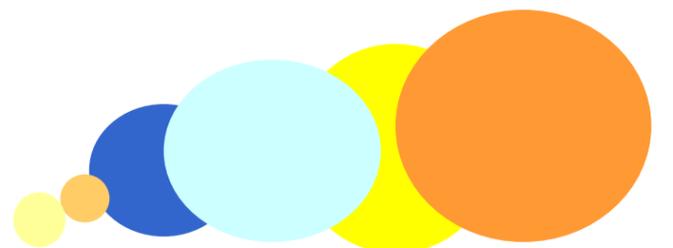
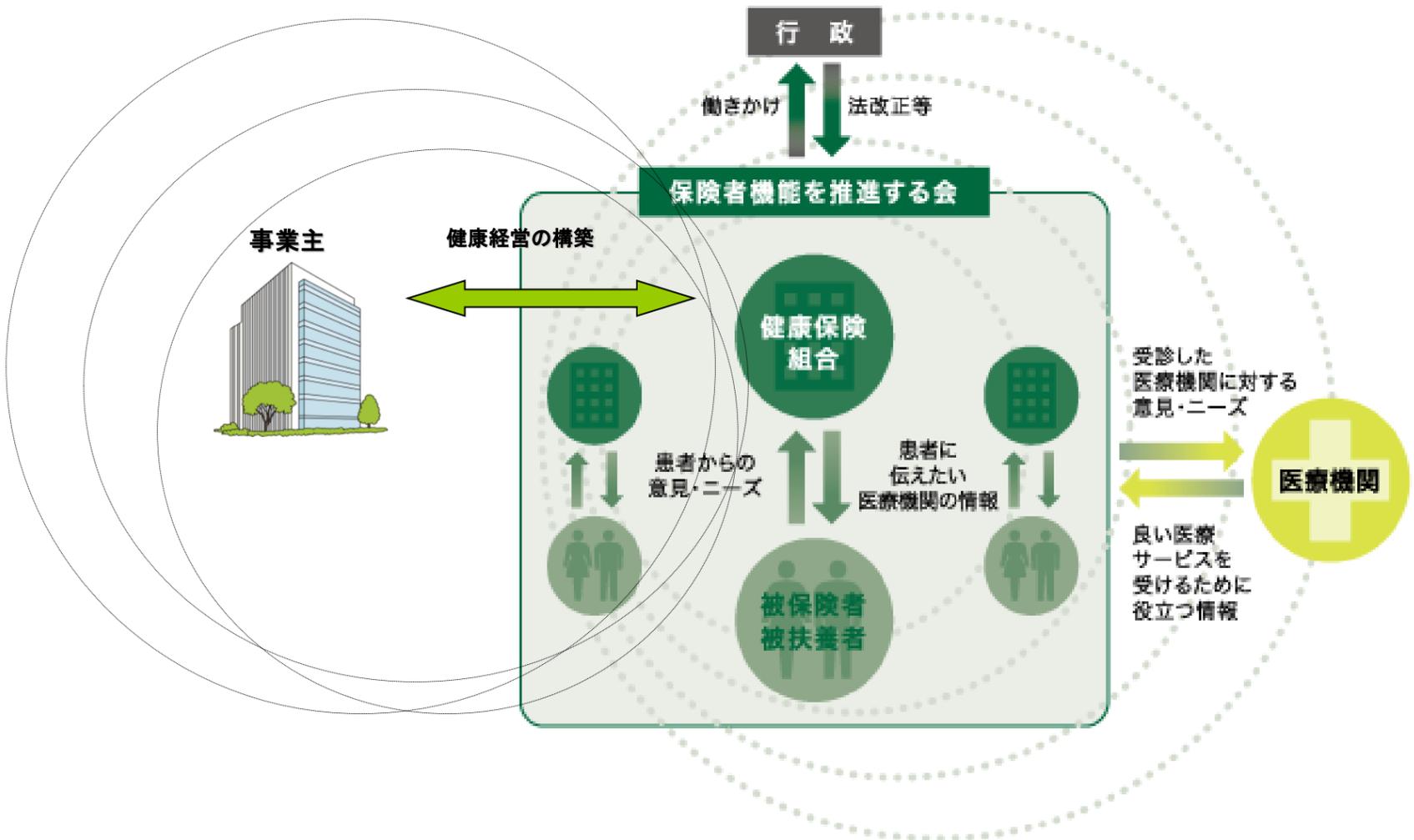


活動概要

- ◎健保の効果的な運営に向け、健康保険・保健事業などの情報共有
- ◎健保を取り巻くさまざまな課題に対しての研究・議論
- ◎関係機関への提案・提言
- ◎会員健保の幹部職員・一般職員の人財育成

少子高齢化社会の進行に伴う「医療保険改革」といった社会的課題に対し、政府をはじめ、経済界、労働界、研究機関、学識経験者などからさまざまな提案、提言がなされており、その多くが「保険者機能の強化」を強く求めています。

「保険者機能を推進する会」は、健康保険制度・健康保険組合を少しでも良くしたいという思いを持つ健康保険組合が「主体的に参画」し、保険者機能の強化に向け活動を行っています。





研究会活動

健康保険を取り巻く様々な課題のうち、自健保だけでは解決が難しいもの、協働することでより効果が見込めるものなどを持ち寄り、知恵を出し合っ、議論のとりまとめや成果物を生み出す研究会活動を行っています。運営は各研究会の自主性を重んじ、参加者の中からリーダーを選出し、当該年度の目標成果物、活動方針を定めて進めます。対面・オンライン・ハイブリッドといった実施方法や開催頻度についても研究会の目的や事情に応じて定めています。参加者の知識の向上や人的ネットワーク形成の機会となるだけでなく、研究会活動結果の更なる充実につながるよう、全員が積極的に役割を担う参加型の活動を目指しています。

各研究会の活動結果は、推進する会会員健保の保険者機能の向上につながるよう、全国大会や成果発表会などを通じて共有をはかるとともに、小冊子にとりまとめ、健保連、厚労省など関係機関に内容を共有する予定にしております。2025年度の研究会テーマは以下のとおりです。

2025年度研究会テーマおよび参加条件一覧

【レセプト・健診データ分析研究会】

<テーマ>

◎全体テーマ

・研究会参加健保の健保特定健診&特定保健指導データを共通の分析ツールを使用し、自健保や参加健保全体としての課題抽出およびその対策を検討する。

◎グループワーク

・グループで健診&レセプトデータの深掘り分析を行い保健事業の課題を見つけその改善方法を検討

<参加条件>

・スキル、経験は不問（※但し、保健事業の経験の方がより理解はしていただき易い）

・ハイブリッド開催となりリモート参加者はMicrosoft Teams利用が可能な方

・研究会の『全体テーマ』に必要な「特定健診の直近⇄5年前比較用データ」&「特定保健指導翌年変化分析ツール用データ」（いずれも個人情報なし）を作成いただける保険者

【健診事業のあり方研究会】

<テーマ>

がん検診と特定健診をテーマとして活動します。

◎がん検診：「職域におけるがん検診マニュアル」や「第4期がん対策推進基本計画」に準じ2点を取り組みます。

1) 精度管理を充実させるための実態把握や情報交換など

2) 科学的根拠に基づくがん検診の実施のための講義

◎特定健診：被扶養者受診率が参加健保の目標値に近づくようワークショップなどを開催予定

<参加条件>

・自健保の健診/検診を発展させたい方

・ハイブリッドが基本ですが、オンラインの場合Microsoft Teamsを使用可能な方

・各健保から参加は1名でお願いします（運営委員メンバー健保は除く）

・期中の参加はお断りする可能性があります

【特定保健指導応用研究会】

<テーマ>

前年に引き続き、「研究会「分科会」の2本立てで活動します。

◎研究会活動

・事例発表による情報交換等を継続するとともに、アンケートの分析やアドバイザーの津下先生との情報交流等を積極的に実施して、有益かつタイムリーな情報提供を行います。

◎分科会活動

・研究会から得られた各種情報をテーマ別に深く掘り下げ、特定保健指導はもとより、生活習慣病関連の保健事業に関する課題とその解決策を検討していきます。

<参加条件>

・特定保健指導及び関連保健事業等の情報を提供できる方

・自健保だけでは解決が難しい特定保健指導関連の保健事業の課題をお持ちの方

・楽しみながら、特定保健指導および保健事業をよりよくしたいと考えている方

【女性の健康研究会】

<テーマ>

女性の健康に関し、専門家・研究者やFemtechの事業会社からの情報の取得や協働による研究、また他健保の成功事例等の共有などにより、研究会参加健保の課題の解決につなげていきたい。

更には、その成果を推進する会参加健保にも共有することにより、推進する会全体へつなげていきたい。

<参加条件>

・研究会への参画を通じて、実現したい目的・目標がある方

・自身が研究会の運営を担う意気込みのある方

【シニアの健康研究会】

<テーマ>

- ①若い世代へのアプローチも含めた健康なシニア世代を迎えるためのロコモ・アイ フレイル等の諸課題を健保間で共有し活用できるコンテンツの研究と作成
- ②シニア世代のリスク低減に向けて筋力低下者への指導を目的とした握力測定を必須項目とする等の健康診断・保健指導の見直しについての政策研究

<参加条件>

- ・共に研究会を盛り上げていただける方なら特段のスキルや経験は問いません

【たばこ対策研究会】

<テーマ>

【全体活動テーマ（全員参加）】

- ①作りながら” マナブ” : 「たばこ対策コンテンツ集」の更新
- ②情報共有しながら” マナブ” : 各健保のたばこ対策事例共有、専門家からの講演（効果的な広報テクニック）

【チーム活動テーマ（任意・選択制）】

- ①「研究・分析」チーム（6ヶ月間：6～11月）：「タバコとレセプトの関係性」 または 「喫煙問診分析」（予定）
- ②「外部交流活動」チーム（不定期：6～1月）： 国会議員や外部研究・活動機関などとの連携

★これまで研究会内で実施していた「基礎知識レクチャー」は、推進する会主催で別途開催（全会員対象）予定です。

<参加条件>

- ・Microsoft teams活用可能な方（対面・オンラインのハイブリッド開催）
- ・楽しみながら活動できる方
- ★万が一当日ご欠席の場合でも動画配信します。
- ★関東以外での開催も企画予定です。

【療養費適正化研究会】

<テーマ>

- 療養費を取り巻く環境・実態等の理解、把握(事例共有・関係者の講演)
- 自健保における柔整療養費の分析と加入員の正しい療養費利用の啓発
(データ分析・動画作成・リーフレット作成を班別にワーキング予定)
- 他健保との比較から理解する自健保での課題・問題点の抽出(事例発表・情報交換)

研究会の参加スタイルは、

- ☆全てに参加
- ☆情報交換を中心に行う回に参加
- ☆講演会中心の回に参加
- ☆ワーキング活動を中心に行う回に参加

等コース別参加としますが、どのコースを選択するにも、まずは当研究会に参加登録をお願いいたします。

<参加条件>

- ・ハイブリッド型で研究会を開催しますが、ワーキング活動をする日程の際には、対面参加できる(意思のある)方
- ・研究会は皆さん自身で作るものなので、積極的に発言や発表を行える方
- ※「情報共有」を中心とした回(事例発表や自健保の適正化取組の発表等)では、リーダーではなく、各班での持ち回りで資料作成・進行等を行ってもらい、出来るだけ多くの方に係わっていただきます。

【扶養認定基準研究会】

<テーマ>

2025年度は班活動を中心とした情報共有を行います。

- ・認定審査の向上
- ・12月2日の保険証廃止に向けた取り組み
- ・扶養現場での不合理について対応を検討

<参加条件>

- ・どなたでも参加可能です。
- ・従来通り対面での参加を基本の活動になります。WEBでのご参加も可能ですが、情報量が減少する可能性があります

上記の研究会の他に下記2つの研究会が活動を行っています

◎マイナンバー特別研究会（メンバー固定）

「マイナ保険証一体化」に向けて、健保組合・加入者が抱える課題を整理し、厚生労働省保険課、健康保険組合連合会本部と連携をとりながら、情報収集、意見交換、課題解決のための提言などの活動を行います。

◎委託先セキュリティ研究会（期中より活動開始）

下記の2点をテーマに活動を行います。

- ・委託先セキュリティのチェックリストや手引きの精緻化・高度化を図ることで、委託先に預託する加入者情報に関するセキュリティ上の管理・説明責任を自立的に果たしていくための仕組みを整備を行う
- ・上記の仕組み整備の中で抽出した、各健保だけでは対応できない構造的な課題（ヒト・カネ・モノに係る課題）について、健保連や厚労省等、関係団体に対して提言し、課題解決に向けた活動を促進させるよう活動を行います。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。



シンポジウム・講演会・研修会事業

1. 常務理事ネットワークの会

「常務理事の役割、活動とは具体的に何だろうか、どうすることなのだろうか」との課題を抱えながら、活動している皆さまの一助となればと、コラボヘルスやコンプライアンス、健保運営などを題材として、グループ討議を中心とした常務理事ゼミナールを開催してきました。これらから見えてきたのは、常務理事の皆さまにとって、常務理事間で構築したネットワークが、健保活動を検討する際に有効に機能するとの認識です。そこで、2024年度より「常務理事ネットワークの会」に名称を変更して開催しております。年3回の開催を予定していますが、毎回テーマを設定し、その内容についてグループでの情報共有、ディスカッションを行っております。皆さまの日々の業務課題解決に役立ち、活動の充実になることを目標に、時節に沿った課題なども取り上げていく予定です。是非、積極的なご参加をお待ちしております。

2. 事務長ネットワークの会

事務長間のネットワーク構築を目的として、年2～3回ハイブリッド形式（対面＋オンライン）で開催します。対面参加が難しい方も、オンラインでネットワークを構築することが可能です。自主的に運営を支援する事務長のみなさまがテーマを決定し、開催しております。テーマに沿った講演・情報提供を行ったり、各テーマについてグループでの情報共有、ディスカッションを行います。事務長の役割ならではの業務課題の解決に向けて、情報交換、情報共有を通じて少しでもお役にたてるよう活動を行っていきます。積極的なご参加をお待ちしております。

3. 医療保険制度ゼミナール

「医療保険制度ゼミナール」は、2025年度で11年目を迎えた活動です。当会の基本理念である「保険者機能を推進する」を基軸に、保険者を取り巻く7ステークホルダー（政治・行政、保険者・医療提供・患者団体・アカデミア・メディア等）に講演を依頼し、それを通じてバランスのある提言感覚ができる保険者を育てることを目指しています。対象は健保のマネジメント層（理事長・常務理事・事務長・役職者等）としていますが、保険者の機能発揮に課題や疑問を感じる職員も対象範囲としています。講演においては、参加者に資料の事前読み込みと疑問点の明確化をお願いしており、深い情勢理解を伴って参加できるような形にしています。また一方通行の講義でなく質疑・ディスカッションの時間を十分にもうけ、講演会の参加者が一体となって意見を交換しあうことでより重層的・多面的な見方を身に着けることを狙っています。

●2024年度は2回（WEB/ハイブリッド講演会）の活動を行いました。

- ・『データから見る健康経営の実態と成果』（アカデミア）
- ・『医療制度改革の到達点と課題』（医療提供側）

●2025年度（WEB/ハイブリッド講演会を予定）

具体的な日時・講演内容は未定ですが、年3回の開催を予定しています。を組み入れて広くディスカッションすることで、会員健保の提言につながるような活動を展開予定です。



4. 基礎知識研修会

基礎知識研修会は、一般職員を対象とし、事業運営の参考にしていただくために、テーマとする領域の専門家による講演や、参加者同士による議論・情報共有をオンラインやハイブリッド形式で行っています。これまでは、保健事業や業務効率化などにおいて先進的に取り組まれている健保様の事例共有や推進する会プロジェクトの成果発表などを年2回程度実施してきましたが、今後は、研究会の活動を支援いただいている有識者による勉強会なども実施していく予定です。





第12回 保険者機能推進全国大会

開催日:2024年11月20日(水)
開催場所:東京都千代田区 星陵会館

<大会テーマ>

「保険者機能の原点」を追求します！」

- ・良質な医療の確保
- ・保険料の効率的な活用
- ・健康づくりを推進

第12回保険者機能推進全国大会を、2024年11月20日 13時よりハイブリット形式にて開催いたしました。大会開催前には、ロコモ チャレンジ！推進協議会様のご協力によりロコモ度テスト体験会を行いました。

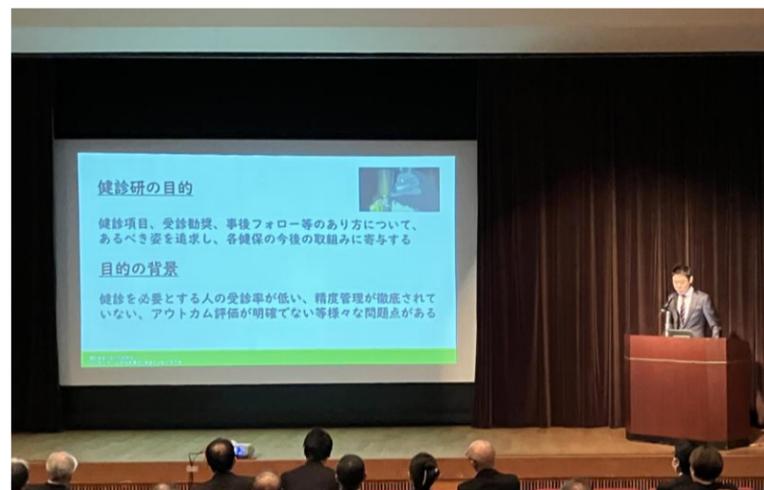
保険者機能を推進する会会長 藤代 勉の開会挨拶の後、来賓祝辞として、厚生労働省保険局保険課長 佐藤 康弘様、健康保険組合連合会 会長代理 佐野 雅宏様よりご挨拶をいただきました。

特別講演として、NTT東日本関東病院 院長 日本整形外科学会 ロコモ チャレンジ！推進協議会委員長 大江 隆史先生より「高めようロコモリテラシー、現役世代から始めるロコモ予防」という演題にてご講演をいただいた後、シニアの健康研究会より、シニアの健康に関する取り組み事例の発表を行いました。

また、後半では、研究会からの発表として、健診事業のあり方研究会、レセプト・健診データ分析研究会より活動経過や活動成果の発表を行いました。



大江隆史先生の基調講演



研究会による成果発表

ご案内

会費

被保険者数	正会員 年会費
5,000人未満	11万円
5,000人以上10,000人未満	13万円
10,000人以上20,000人未満	15万円
20,000人以上50,000人未満	17万円
50,000人以上	19万円

※年度（4月から翌年3月）途中の入会の場合は、会費は月割計算（千円未満切捨）した金額になります。
※健康保険組合の都道府県連合会およびその下部組織、ならびに健康保険組合以外の保険者および団体等については、準会員として入会することができます。準会員の会費は被保険者数により3万円～11万円、被保険者0人は11万円です。

アクセス



会員一覧

(正会員)
IHIGグループ、アイシン、アクサ生命、アクセンチュア、アサヒグループ、味の素、azbilグループ、アフラック、イオン、石塚硝子、H.U.グループ、エーザイ、SMBC日興証券グループ、SGホールディングスグループ、FR、FWD生命保険、MSD、大塚製薬、オートバックス、小田急グループ、オリンパス、花王、カシオ、協和キリン、キリンビール、近畿日本ツーリスト、グラクソ・スミスクライン、栗田、計機、KDDI、国際興業、コスモスイニシアグループ、コニカミノルタ、小松製作所、鷺宮、サッポロビール、C&Rグループ、シーイーシー、CNCグループ、ジェイアールグループ、JNC、塩野義、資生堂、シナネン、ジャックス、住友不動産ステップ、全日本空輸、ソニー、第一三共グループ、大王製紙、大正製薬、太陽生命、太陽日酸、大和証券グループ、武田薬品、TDK、DIC、ディスコ、デンソー、東京海上日動、東京ガス、東芝、TOTO、TOPPANグループ、トピー、トラスコ中山、トランス・コスモス、ニコン、ニチレイ、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、日本航空、日本コロムビア、日本事務器、日本製鉄、日本ゼオン、日本赤十字社、日本発条、日本ビューレット・パッカー、日本マクドナルド、日本旅行、ノバルティス、野村證券、パイオニア、博報堂、パナソニック、阪急阪神、BIJ、PHC、PwC、日立、日立建機、ファイザー、フジクラ、富士通、富士フイルムグループ、ブリヂストン、プレス工業、ポーラ・オルビスグループ、ポッシュ、丸井、三越伊勢丹、三菱、三菱ケミカル、三菱重工、三菱商事、三菱電機、三菱UFJ証券グループ、三菱UFJニコス、明治安田生命、明電舎、安田日本興亜、山崎製パン、ヤマトグループ、ヤマハ、雪印メグミルク、リクルート、レンゴー、ローソン、

(準会員)
健康保険組合連合会京都連合会

120会員【2025年6月1日現在】

入会を希望する、または質問のある健保様はお気軽に事務局へご連絡ください

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル 4階
電話 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413
e-MAIL hokensha@kino-suishin.org
ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Copyright (C) 一般社団法人 保険者機能を推進する会 All Rights Reserved. 無断転載禁止